

〈特集〉

赤い羽根共同募金

地域共生社会の中で  
福祉の「担い手」を育成



P06に  
登場!

松本 進さん

現在、静岡県立富士特別支援学校富士宮分校勤務の美術教師。学校での授業や美術部の活動以外に月に2回、藤枝のwaCと富士宮のatelier QUOKKAで中間の教員スタッフと共に特別支援学校の卒業生を中心としたアートクラブを行っている。趣味はソロキャンプ。



編集発行／社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡市葵区駿府町1番70号 TEL.054-254-5248 FAX.054-251-7508 ✉ spcsw@shizuoka-wel.jp  
http://www.shizuoka-wel.jp 令和4年10月1日発行 1部50円 ※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

Facebook ▶



Instagram ▶





## 赤い羽根共同募金

# 地域を支える「担い手」づくり

～ 若者への福祉教育・住民主体の支え合い ～

今年も「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

赤い羽根共同募金運動は、地域の未来を担う若者への福祉教育や、住民主体の支え合い活動にも貢献しています。この運動が地域を支える担い手づくりに役立てられている事業について取材しました。

デザインはシンプルにまとめつつ、見る人に分かりやすく伝わるよう工夫しました。今回、この企画で赤い羽根共同募金のことを知ることができて良かったです。

「ボランティア活動の手引き」  
「市町版チラシ」に採用  
山本遥心さん



赤い羽根共同募金を見かけることはよくありましたが、全国的な活動だと思っていました。地域の福祉と密接なつながりがあると知り、この活動を親しみやすいものにしたと思って制作しました。

「法人開拓用チラシ」に採用  
藤井美和さん



赤い羽根共同募金について、私も知らないことがたくさんありました。自分が初めて知ったことを、いろいろな人に伝えたいと思って制作しました。制作上のこだわりは配色とレイアウトです。

「全県版チラシ」に採用  
小野彩花さん



## 若者向け 若者への福祉教育



「赤い羽根」  
若者向けプロジェクト  
静岡県立清水南高等学校

「赤い羽根」若者向けプロジェクトは、地域の未来を担う若者に赤い羽根共同募金運動を通じて福祉に関心を持ってもらうことを目的に始まった新しい取り組みです。若者自らが「じぶんの町を良くするため」に学校で学んだスキルを活かして赤い羽根共同募金運動に参加することで地域福祉に貢献する担い手となってくれることを目指しています。

静岡県立清水南高等学校では、芸術科の4名の生徒が、同世代に伝えたい「たすけあい」の思いをデザインしました。現役高校生が描く募金の使いみち。プロジェクトに参加した生徒たちは、赤い羽根共同募金のことを学び、調べて制作に取り掛かったそうです。赤い羽根共同募金の使いみちについて丁寧に表現された完成作品を見て「すべての作品が素晴らしいかったです」と話すのは、赤い羽根静岡県共同募金会常務理事の影島秀明さん。6月に同校を訪れ、4名の生徒に感謝状が贈呈されました。当初は「一つの作品だけが」若者向け壁新聞」に採用される予定でしたが、生徒全員の作品を今年度の広報用資料に採用することになり、参加した生徒も嬉しいような様子でした。プロジェクトに参加した生徒たちが、今回の経験を通じて福祉への関心を深め、将来、地域を支える担い手になってくれることを心から期待しています。

## 「走るSL」募金箱

静岡県立島田工業高等学校(島田市)



島田市共同募金委員会(島田市社会福祉協議会内)の新たな取り組みで、静岡県立島田工業高等学校情報電子科3年生の生徒8名が、課題研究の一環で「募金したくなる募金箱」をテーマに「全国にたった一つしかない募金箱」を製作。生徒からは「仲間たちが主体的に考え、先生からアドバイスを受けながら製作しました。活動を通して地域に貢献できたことが嬉しい。完成した時は、皆で拍手をしたほど。この募金箱が島田市内で活用され、人々の笑顔につながればこの上ない幸せ」というメッセージがありました。完成した募金箱は令和3年12月に大井川流域の体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」に設置されたほか、今後も継続的に使用する予定です。

## つながり交流

西伊豆町立田子小学校(西伊豆町)



西伊豆町社会福祉協議会が赤い羽根共同募金助成金を活用して「つながり交流」事業を開催。コロナ禍で学校と地域の交流が減るなか、田子小学校の1～6年生が生きがいデイサービスに通う高齢者とオンラインでつながり、スクリーンを通して頑張っていることや楽しみにしていることなどを話しました。高齢者の孤立を防ぎ、子どもたちの優しい心を育む機会になりました。

## 「若者向け」作品 静岡県立清水南高等学校 先生方からのコメント



高等学校・同中部/校長 小野田秀生 先生  
我が校の生徒が赤い羽根共同募金の背景や歴史的な価値をしっかりと調べ、理解して今回の制作を行ったことは素晴らしいと思っています。社会に出る前にこうして地域や団体とつながることには非常に教育的価値がありますし、機会を与えてくださった静岡県共同募金会さんに感謝しております。



芸術科長・美術科教諭/竹川友美子 先生  
勉強したばかりのイラストや図で情報を伝えるインフォグラフィックスを活かしてデザインを考えることができました。クライアントの希望を汲み、第三者に伝わるビジュアルをきちんと制作していくことを学べた、良い教育機会をいただいたと思います。



美術科講師/杉本一詩 先生  
赤い羽根共同募金という、子どもの頃から、知っているようで知らなかったことを調査して理解し、第三者に伝わるビジュアルを考えることができました。同じ課題でも4人それぞれまったく違うものが出来上がったことが、デザインのおもしろさだと思います。

これまで赤い羽根共同募金は国が運営していると思っていました。今回のことをきっかけに赤い羽根共同募金のことを学び、新たに知った募金の使いみちを分かりやすく伝えたいと思いました。制作にあたって、情報の取捨選択に一番こだわりました。

「若者向け壁新聞」に採用  
渥美まりんさん





# 赤い羽根共同募金

## 地域を支える 「担い手」づくり

赤い羽根共同募金の助成金は、住民の困りごとに対応した、移動支援や買い物支援、孤立を防ぐ見守りなど、住民主体の生活支援サービスを応援するため、市や町の社会福祉協議会を通じて活用されています。長泉町社会福祉協議会は赤い羽根共同募金事業を活用して、住民主体の支え合いづくりを始め、地域課題の一つである「移動支援」に対し、子育て世代の参画、応援を得て取り組み始めています。

### 住民向け 住民主体の支え合い



「赤い羽根」地域共生社会づくりモデル事業 長泉町北部の住民組織「やまびこ」

新幹線が停車する三島市に隣接し、首都圏のベッドタウンである長泉町は、子育てがしやすい町としても知られています。長泉町社会福祉協議会は、赤い羽根共同募金助成金を活用しながら、それぞれの地域の困りごとを住民



長泉町の「生活支援ボランティア講座」の様子。



オリジナルチラシ 広報やまびこ

世代の住民に向けて発信し始めました。今後は移動支援など困りごとの課題を解決するため、住民が手を取り合い、話し合いを重ね、活動していきます。

### 赤い羽根共同募金を活用した取組み

「やまびこ」に参加している佐々木啓子さんは「母の介護を経験し、きちんと知識を身に付けてから誰かの役

に立ちたい」と、赤い羽根共同募金助成事業を活用して長泉町社会福祉協議会が開催した「生活支援ボランティア講座」を受講した59名のうちの一人。ボランティアとして、相手との的確なやりとりを学び、「やまびこ」でも積極的に活躍されています。

地域の困りごとを知り、地域の住民自らが動き出し、支え合いの輪が広がり始めています。

### 赤い羽根共同募金は災害時にも役立てられています。

令和4年8月、台風8号による松崎町太田川の決壊、令和3年7月の熱海市伊豆山地区の土石流災害など、自然災害の被害に多くの方が苦しんでいます。赤い羽根共同募金は、災害ボランティアセンターの運営資金はもちろん、平時においては活動用機器の整備を県内各地で進め、社会福祉協議会を中心とした支援体制づくりを応援しています。



上)沼津市災害ボランティアセンター 左)床上浸水世帯での災害ボランティア活動(松崎町)

### 新しい募金活動の方法 募金活動には、こんな形で参加できます

#### お店とコラボ

##### 「寄付つき商品」

お店や会社とコラボした「寄付つき商品」は社会貢献が広がる企画です。期間を限定したり、商店街でイベント企画にしたり。昨年は、清水エスパルスと2021コラボ企画。「ピンバッジ」と「マグネット」、「マスク」で、赤い羽根を応援する募金活動に協力いただきました。



赤い羽根2021の「エンブレム」と「パレちゃん」の、ピンバッジとマスク

#### 寄付につながる

##### 「自動販売機」

売り上げの一部が寄付される自動販売機の設置協力先は県内に約500ヶ所あります。福祉施設もその一つ。浜松市北区で障がい者の就労支援を行うトータルケアセンター「グレースガーデン」はカレー屋さんです。駐車場には冷凍カレー販売機と並んで、飲料の販売機が協力中!



街道沿いにあるカレー店の駐車場には、赤い羽根の社会貢献型自動販売機が設置されています。

#### 「押し」を応援する募金

福祉課題を解決する活動を応援する「課題解決プロジェクト募金」。1月から3月に応援を呼び掛けます。推しの先の笑顔のために。

#### 募金箱を見かけたら

優しさを集めている募金箱。募金箱が、街角や、お店に置かれていたら、優しい気持ちをお願いします。

#### 思いを「ポチッと」

インターネットで買い物するように、あなたの思いやりを「ポチッと」寄付できます。



ネット募金

#### 遺して託す寄付

遺贈や相続寄付を通じて、「じぶんの町」の未来を豊かにする寄付。そのほか、株主優待券を寄付する方法もあります。

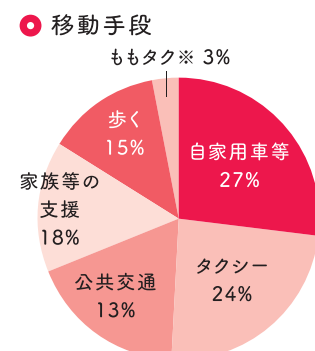


遺贈



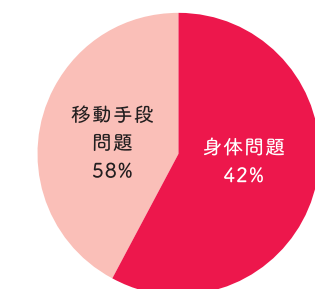
株主優待券

### 住民アンケートでニーズの高かった移動手段

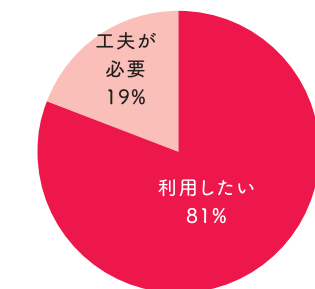


※桃沢地区の路線バス撤退後、予約して乗車する乗り合いタクシーのこと。

### 不自由な要因



### 生活のあしの利用※



※「やまびこ」が考える移動手段のこと。

主体で支える仕組みを目指して、各地区で取り組んでいます。北部の山間部では町中心部と比べると高齢化率が高く、切実に求められている困りごとは「移動支援」。その北部に、住民組織の「やまびこ」が発足しました。北部に住み、長らく民生委員を務めてきた江畑均さんが現在「やまびこ」の会長として、話し合いの場を取りまとめています。広島で育った江畑さんが長泉町に住み始めた平成元年の頃は、向こう三軒両隣の助け合いが、まだ色濃く感じられた時代でした。しかし現在のように人口流入が著しくなると、古くからの住人と新しく住み始めた

やまびこの会長を務める江畑均さんと、生活支援ボランティア養成講座を受講し、「やまびこ」で活動している佐々木啓子さん。



江畑均さん

佐々木啓子さん

### 長泉町北部 (北小学校区)



人の交流はなかなか多くはありません。そうした背景もあり、「やまびこ」のような住民同士による支え合いの仕組みの必要性を感じています。

「やまびこ」の取り組み 最初に取りかかったのは、自分たちの地域の困りごとについて知ることでした。委員全員で行ったアンケート調査では、やはり「移動支援」が求められていることが判明。活動を始めるにあたり、まずは「助け合いの大切さや自分たちの活動を知ってほしい」という思いから、子育て世代の協力を得て、オリジナルチラシ、広報やまびこを作成し、全

### 社会福祉法人静岡県共同募金会

静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉館内 TEL.054-254-5212 http://www.shizuoka-akaihane.or.jp

ホームページ



ネット寄付する



## 福祉の“中の人”

様々な福祉の活動について、具体的な内容や魅力を、実際に活動している人に直撃!リアルな声をお届けします。



case.21  
静岡県立富士特別支援学校  
富士宮分校 美術教師  
松本進 さん  
matsumoto susumu



### 「ARTで世界は変わる。障害の有無で区別されない世の中に」

美術の先生として、長年、特別支援学校の生徒たちを指導する松本さん。彼らが学校を卒業した後も絵画表現を続けられる場所があるようにと、藤枝に atelier QOOKA(アトリエクオッカ)を立ち上げ、仲間、教員とともにアートクラブを続けています。アートについて、生徒たちについて、お話を伺いました。

美術の先生として、長年、特別支援学校の生徒たちを指導する松本さん。彼らが学校を卒業した後も絵画表現を続けられる場所があるようにと、藤枝に atelier QOOKA(アトリエクオッカ)を立ち上げ、仲間、教員とともにアートクラブを続けています。アートについて、生徒たちについて、お話を伺いました。

とても嬉しいことだと感じています。  
Q 彼らの絵の魅力とは?  
美術指導をしていて一番驚いたのは、彼らの絵に力があることです。自由で、のびのびしていない。ストップやリミッターをかけない、とても魅力的な絵画表現です。そこには人々を次々と結びつけていく不思議な力、驚くべきパワーがあり、その数多くの出会い、奇跡的な繋がりからメンバーも保護者の方も私たちスタッフもたくさんの方々の貴重な経験をさせてもらっています。感謝してもきれいなほどです。  
これからは居心地のいいアトリエを作っていくとともに、生徒たちの作品展示やイベントなど、情報発信も積極的に行っていきたいと思っています。

今月の

# Information

福祉にまつわる様々なお知らせや取り組みをご紹介します。あなたの暮らしに役立つことがあるかもしれません。

県社協へ寄附金をいただきました。ありがとうございました。

**ふれあい基金**  
しずおか焼津信用金庫様から253,712円のご寄附を、一般社団法人親切会 中部支部様から100,000円のご寄附をいただきました。  
※しずおかの居場所助成事業、地域共生大賞等、県内ボランティア活動の支援に活用させていただきます。

**一般寄附金**  
静岡銀行従業員組合様から300,000円のご寄附及びタオル400枚のご寄贈をいただきました。  
※寄附金は、地域福祉活動に活用させていただきます。また、タオルは、静岡県母子生活支援施設協議会を通じ、県内の施設で大切に使用させていただきます。

イベントの事ならなんでもおまかせ!  
**(株)アイ**

運動会 お祭り 各種レンタル

- 会場設営・舞台・テント
- 照明・音響
- エアースターチ・ゲート
- 名入風船
- フアファ動物製作販売リース
- 各種文字カット
- アドバルーン各種

本社 / 焼津市大住402番地  
☎054 (639) 6664

施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

カーテン出張クリーニング  
カーペット・タイル出張丸洗い  
ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング

特許ランドリー車

洗浄前  
洗浄後

株式会社三ナツ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1  
フリーダイヤル-ミナワにハロー ☎0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

## ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
コチラ  
(ふくしの保険ホームページ)

＜基本プランに加入される方へ＞  
基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。  
◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。  
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ケガの補償	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
死亡保険金	1,040万円		
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
入院保険金日額	6,500円		
手術 保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円		
通院保険金日額	4,000円		
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
賠償責任 の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通) 5億円(限度額)		
年間保険料	350円	500円	550円

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ21-10723より抜粋して作成)

# 福祉の現場からこんにちは!

福祉の現場で働く人からの知恵や工夫、日常的に利用できる情報と、素敵な福産品に出合える場所を紹介します。福祉をより身近に感じるとともに、あなたの生活にもぜひ活用してみてください。

## 福祉施設職員が伝授! 介護のコツ



デイサービス管理者  
小畑和紀さん

誰でもどこでも簡単。  
2分でできるセルフケア。

腰痛予防や肝臓ケアにつながると言われるエクササイズ。4種類を各30秒、合計2分、道具も不要で手軽に取り組みます。

### ① 多裂筋を鍛える。

1.足を肩幅に開き、内股気味で立つ。2.手の平を上に向け、肘が90度になるよう腕を曲げて体の横につける。3.左右の足を交互に、斜め上に上げる。



### ② 内転筋を鍛える。

1.エクササイズ①の1、2の状態で立つ。2.踵をお尻につけるように足を後ろに上げる。左右の足を交互に行う。



### ③ 腸腰筋を鍛える。

1.足を肩幅に開き、内股気味で立つ。腕は力を抜いておく。2.左右の足を交互に、踝が上を向くように上げる。



### ④ 内側ハムストリングスを鍛える。

1.エクササイズ③の1と同じように立つ。2.踵をお尻につけるように足を後ろに上げる。左右の足を交互に行う。



## 福産品を探して

### メイちゃんのパン屋さん

袋井市泉町2-10-5 ☎ 0538-43-0623

🕒 11:00~16:00 📅 土・日・祝日

<https://www.meiwakai.jp/tubasa/mei-bread-63427/>



くるみぱんやカスタードコロネ、粒あんぱんなど種類豊富。予約販売受付中。

材料を吟味していて、しかも150円前後のお手頃価格のパンが揃うこちら。「メイちゃんのお茶芽ボール」や「チョコブラウニー」、発酵バターを使ったガレットなどの焼き菓子にも注目です。企業や学校での移動販売も人気で、袋井市役所の売店では月・木・金に販売しています。



## 10月は里親月間です。

厚生労働省では、毎年10月を『里親月間』として、里親制度やファミリーホームを推進するための集中的な広報啓発を実施しています。里親制度等の家庭的な養護が子どもの最善の利益にかなう有意義な制度であることを広く県民・市民に啓発することで、社会的養護についての理解を深めるとともに、地域全体で子どもを支える地域社会の構築を目的としています。各都道府県では、この時期、様々な関連イベントが開催されます。静岡県でも、毎年「里親月間記念講演会」を開催しています。



### 令和4年度 里親月間記念講演会

日時 令和4年10月15日(土) 13:00~15:00

会場 アイセル21(静岡市女性会館)

1階ホール

静岡市葵区東草深町3番18号

参加費 無料

講師 北川聡子氏((福)麦の子会 理事長)

『里親の魅力』



#### 問合せ先

静岡県里親連合会事務局 ..... TEL 054-254-5231

静岡市里親家庭支援センター ..... TEL 054-275-2252

浜松市里親会事務局 ..... TEL 053-457-2703